

素顔

旅は冒険。だから一生の記憶に



1987年生まれ。26歳で「慢性炎症性脱髄性多発神経炎」を発症。2019、20年度「ジャパン・ツーリズム・アワード」入賞。

病气や障がいを抱える人らの旅行をサポートする難病患者

さくら い じゅん さん  
櫻井 純 さん

「私たちにとって、旅行は『冒険』。健常者よりもリスクやハプニングが多い分、一生刻まれる記憶になる」。2016年に旅行会社「櫻スタートラベル」（大阪市）を設立。自らも難病患者でありながら、病气や障がいを抱える人の旅行や外出をサポートしている。

忘れられない旅がある。26歳で神経難病を発症し、「病气が進めば、行きたい場所に行けなくなる」と、つえを突きながらの「九州一人旅」を決行した。鹿児島県の離島「甞島」で、当時はまだバリアフリーとはいえなかった島内を、多くの人の助けで、まわることができた。島民に「車イスでも担いであげるから、またおいで」と言葉を掛けられ、涙が止まらなかった。多くの人にこんな体験をして

もらいたいと、活動を始めた。これまで「つえと車イスで行くエアーズロック」など、数々の旅を実現。健常者を含む約2800人をサポートしてきた。現地に何度も足を運び、スロープまでの経路の確保や案内表示の見直しなど、当事者の目線で準備を進める。

「自分が病气や障がいの人の気持ちを代弁し、当事者と受け入れ先を、つなぐ」役割を担うことで、多くの人々が「バリア」をなくすために動いてくれる」と実感する。

誰もが気兼ねなく旅行できるよう、社会全体で環境の整備が進むことを願う。「社会では、障がい者らの生活を知らない人がほとんど。衣食住の全てが詰まった旅をサポートすることで、必ず理解の輪が広がると信じている」（住）